

至誠一貫

～志を高く～

5号

HAGI JC NEWS 2010

JCニュース VOL.49

8月度 例会

定時総会

日時：8月12日(木) 場所：萩商工会議所 3F

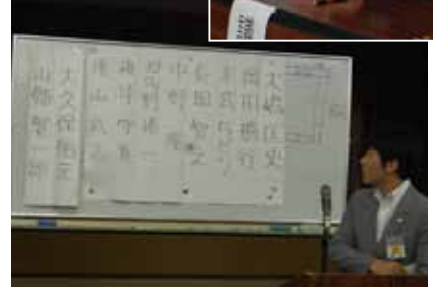
8月12日商工会議所3階にて8月度例会・定時総会が行われました。定時総会では、今年度理事長の増山理事長から、次年度の理事長の発表があり、そして満場の拍手のもと次年度理事長、豊田善隆予定者が無事承認されました。その後、次年度の理事・監事の選考が行われ、無事に次年度を支える理事8名、そして監事2名が選出されました。

その後、壇上にて、豊田善隆理事長予定者より次年度の抱負を述べられ、今年度の増山理事長のご発声のもと乾杯が行われました。

いよいよ次年度の体制が整い、私も身の引き締まる思いです。本年度も残りわずかとなりましたが、増山理事長をしっかり盛り上げ、次年度の豊田理事長予定者に引き継げるように会員全員でJC活動に取り組んでいきたいと思えます。

とはいえ今年もまだまだ4ヶ月残っております。今自分に出来る事を精一杯頑張りたいと思えます。

総務情報委員会 委員 山本 舞



7 月 度 例 会 臨 時 総 会

認 承 記 念 式 典 ・ 記 念 パ ー テ ィ ー

日時：7月12日(月)

場所：千春楽 味楽亭

7月12日(月)千春楽味楽亭にて、7月度例会臨時総会が開催されました。臨時総会では2011年度理事長選考委員が選出され、その後本年度の一般会計修正収支予算(案)が無事に承認されました。

理事長選考委員の方は緊張の面持ちで臨時総会の終了を迎えていました。次年度に向け、早くも出発するんだと私自身も気を引き締めました。終了後、認承記念式典・パーティーが開催され、野村市長をはじめとすご来賓の皆さま、OBの皆さまをお迎えし、盛大に行うことが出来ました。2010年度の観光開発委員会の事業PRもさせていただき、余興を担当したLOMサポート委員会をはじめ、他のメンバーと共に精一杯のおもてなしをさせていただきました。

ご出席いただきましたご来賓の皆さま、OBの皆さま本当にありがとうございました。

総務情報委員会 委員
山崎 友和



サマーコンファレンス2010

日時：7月24日(土)・25日(日) 場所：パシフィコ横浜

7月24日・25日に開催されましたサマーコンファレンス2010に参加してきました。サマコン自体初めての参加で、期待に胸を膨らませていました。今年は猛暑で横浜は萩の倍くらい暑かったです。会場はそれに負けないくらいの熱気で、相澤会頭の熱い思いが詰まっていました。講師やパネリストには有名な知識人が参加しており、貴重な意見が聴けました。改めてJCのすごさを実感しました。また、各地のJCの活動が紹介され、地域のためにいろいろ考えて事業を展開しており、これからの自分のJC活動の参考になりました。理事長はじめ一緒に参加したメンバーの皆様とも親睦を深めることもでき、有意義な2日間でした。来年も参加したいと思います。

ありがとうございました。

事務局長 中野 隆





香り咲く城下町萩プロジェクト

去る8月7日、山口福祉文化大学にて観光開発委員会事業「香り咲く城下町萩プロジェクト」大橋マキ講演会「香りの持つチカラとおもてなし」並びに萩イメージアロマ発表会を開催いたしました。講師の大橋マキさんのお話では香りは脳に直接働きかけ、ストレスの緩和やリラックスできる効能から気分を上げてくれる香りもあったりと実際の経験談やデータを交え説明され、その香りを「萩のおもてなし」にどういったかたちで活用していくかと沢山のアイデアをいただきました。講演会場には大橋マキさんのブレンドした萩イメージアロマが香り、連日の猛暑の中いらしていただいた方々に爽やかな気分になっていただけたのではないかと思います。この萩イメージアロマを作っていただくにあたり、大橋マキさんに事前に萩に来ていただき、萩市内を観光し萩のイメージを感じていただきました。その際、大橋マキさんの美しさも去ることながら前向きで真摯なお人柄にふれた委員会メンバーは全員大橋マキさんのファンになってしまい(?) それからの気が遠くなるような夏みかんの製油精製作業、PR用の何千個という入浴剤作りなどの作業も事業成功を信じ、何とか乗り切れました。講演会の後に行われた座談会では香り咲く城下町萩プロジェクト実行委員会が立ち上がり、これからも事業は続いていくことになりました。弘中実行委員長、頑張りましょう!!最後に増山理事長をはじめ、暑い中お力添えしていただいた会員の皆さん、講演会・ワークショップにお越しいただいたOBの方々、大変ありがとうございました。

観光開発委員会 委員 斉藤 恵



香り発信：7月28日(水)～8月3日(火)
萩市内各所

講演会：8月7日(土) 山口福祉文化大学

本年度観光開発委員会の事業の発足について、いろいろな案がでていた中、副委員長の鳥田栄二君の会社に毎年多大な夏みかんの皮が処分されているということから、夏みかんの皮の有効利用、そしてまた萩の代名詞、夏みかんの良さを今一度、市民一体となってPRしようという事が出発いたしました。



手始めとして3月末、柑橘試験センターで夏みかんの精油抽出実験に取り組み、5月には花を摘んで花からの精油抽出も試みてみました。しかし精油の採れる量はほんのわずかで、非常に時間のかかる作業でした。そして7月28日から8月3日までを香り発信期間として、市内各所にアロマポットの設置、香り袋の配布等を行い、事業PRをいたしました。

当日は、大橋マキさんの講演会の後、ワークショップを行いました。会員の皆様のご協力によりこられた方が、みんな楽しそうに作業しているのを見て、安心しました。私は、紙すき担当でしたが、エコプラザからお二人のお手伝いを頂いたお陰で、ほとんど見学状態で、途中なぜか大橋マキさんと入浴剤作りをしておりました。お陰でとても良い思い出になりました。当初の動員予定人数には至りませんでしたが、講演していただいた大橋マキさんも非常に喜んで、また事業終了後行われた意見交換会では、この香り発信をここで終わらせるのではなく、これからもっと広めていくために実行委員会が立ち上げられ、現在メーリングリストに18人が登録されています。香り咲く城下町萩プロジェクトは、今回の事業をきっかけとして、これからどんどん膨らんでいきそうな勢いを感じられます。

最後に、ご協力、お手伝いいただきました多くの会員の皆様方、お忙しい中、また暑い中大変ありがとうございました。

観光開発委員会 委員 上田 智幸



萩夏まつりののんた大提灯パレード



日時：8月3日(火) 場所：住吉神社他 萩市内

昨年は雨天の為中止になった、のんた大提灯パレードも、今年は異常なくらいの猛暑の中、無事に開催されました。住吉神社は万治元年(1658年)に商売繁盛・海上安全を願って勧請、翌年5月1日に浜崎の地に建立されました。同年、住吉神社祭礼も始まり、萩毛利時代以来、約351年も続いている萩の伝統行事となっています。また祭礼盛大を図る25町内からなる引受町制度は住吉祭礼の重要な役を担い、全国でも京都の祇園社や長崎の諏訪社にしか見られない珍しいものとなっています。

お供え提灯・お迎え提灯などの提灯が住吉神社祭礼の重要な働きをすることに基づき「のんた大提灯」が始まりました。年に一度の行事ですが各町内の中の連携を図るため、青年会議所では卒会生がのんた提灯を引く事になっています。各町内も人数の減少で提灯の引き手等々の問題もありますが、この勇壮で幻想的な大提灯が萩のまちを練り歩く事にはそんな意味もあると思います。初めて参加された会員の方や5名の卒会生の方にもこの記録的な暑さも後押しして熱く厚く心に刻みこまれたのではないのでしょうか。

萩 JC 特別実行委員会 副実行委員長 槇埜 守貢



中国地区コンファレンス 2010

日時：7月10日(土)・11日(日) 場所：防府市(防府青年会議所主管)

準備に準備を重ねてきた地区コンファレンス2010が、7月10日・11日、防府の地にて開催されました。

まずは4月からはじまったPRキャラバン隊でしたが、中国地区全56LOMを回るべく、片道5時間かけて10分のPRをし、萩に帰るとすでに朝。仕事をして、夕方にはまた片道4時間かけてPRに行くという日々が続き、睡眠不足の結晶とも言える結果、1,100名を超える地区メンバーの登録をいただきました。地区コンでは式典・大懇親会とも、司会という大役を仰せつかりましたが、何とかやり遂げることができ今後の大きな自信にもつながりました。当委員会では、式典、メインフォーラム、大懇親会、領土領海のパネル展示・署名活動の運営、設営担当でしたが、中



国地区内の委員会メンバーが全員集まるといことがなかなか難しく、数人の主要メンバーのみで寝ずの会議、資料づくりをした日々は時間と体力との戦いでしたが、今では忘れえぬ思い出となり、必ずや後に役立つ経験にもなったと思います。また副委員長としてメンバーを束ねる難しさを目の当たりにし、なかなか委員会に出席できない委員会メンバーの士気を保つために、とにかく報告、連絡事項は個人的に逐一電話で対話をしながらコミュニケーションを取るという私なりのやり方で最後までやり通しました。その結果、地区コン当日には、全メンバーが同じ気持ちで事業に取り組み、メンバーからは「この委員会に出向して本当に良かった。」といううれしい言葉をいただきました。もちろん、私は大号泣でしたが…。また、10日、11日と商店街で開催されたG級グルメグランプリに萩を代表して出店された中村君のライスコロッケも大好評でした。本当にお疲れ様でした。

増山理事長をはじめとする多くのメンバーに参加いただき心から感謝しています。また、大懇親会の途中からは雨が降り出し多くの方が帰り出す中で、傘もささず最後まで私の司会を見守ってくださったLOMメンバーには、本当に勇気づけられました。初めての出向でしたが、副委員長という責務をなんとか行動力のみで全うできたのも、萩JC

のメンバーの励ましと支えがあったからこそだと実感しています。地区の出向で学んだ多くのことを、萩JCの中で活かし、新しいメンバー達にも伝えていくことで少しでも恩返しができたらと思います。

本当にありがとうございました！

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会
JC 運動確立委員会 副委員長 佐久間 慈子



日時：9月5日(日) 場所：山口南総合センター

9月5日(日)に、山口南総合センターにて、「相撲キッズトーナメント～健やかに 清き心で たくましく!」と題した、小学生対象のわんぱく相撲が開催されました。私自身、初めての出向という事もあって、ドキドキしながら当日を迎えました。当日の事業には、山口県下各地から約40名の子供たちが参加してくれ、午前中は、山口県相撲連盟の方たちが子供たちに、相撲の稽古をつけてくださり、午後からは小学年の部 中学年の部 高学年の部 女子の部と分かれてトーナメント形式で相撲を行っていきました。体格の差が少ない小学年の部では、接戦が多く大変会場を盛り上げてくれました。中でも、私が特に印象深かったのが、勝って相手を倒した子供が負けた子供に手を差し伸べて起こしてあげるといったシーンでした。子供たちが勝ち負けだけにこだわらず、相手を思い遣る心というものを持って相撲に取り組んでくれました。この経験が子供たちにとっては、大変大きな財産になると思います。

最後に当日朝から、この事業に協力して下さった萩のメンバーの方々にお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

山口ブロック協議会 たくましく生き抜く力実践委員会 出向 松本 俊孝

わんぱく相撲



本年度、15年のJCライフがもう少しで終えようとしています。

あっという間に過ぎていったような気がします。JCではいろんな方と出会い、学ばせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。萩青年会議所には伝統があり団結力があり、本当に素晴らしい団体であります。15年間、萩青年会議所を愛することが出来たこと、そして多くの先輩、メンバーに支えられ様々な役職をさせていただいたこと、すべてが自分の財産になったと思います。

これからも、地域の一員として頑張っまいります。本当にお世話になりました。 **小橋 正伸**



井上 光治 (いのうえ こうじ)

株式会社井上商店

この度、正会員として迎えていただきました井上です。

研修期間中には、温かいご指導、時には叱咤激励していただき皆様方には大変感謝いたしております。

今後、JC活動を通し、皆様方との調和、自分自身の成長、萩市への貢献をしっかりと考え正会員として再度、初心に戻り、JCでの活動に励んで参りたいと思います。

正会員として知識も経験も浅く、引き続き皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りたく存じます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



野間 保宏 (のま やすひろ)

あおぞら歯科医院

研修会員として4月より活動させていただきましたが、正会員になることができました。

これも先輩方の温かいお言葉があってこそ、今の姿があるものと感じております。

これからも先輩方と交流を深め、よりJC活動にうちこんでいきたいと考えています。

正会員として恥ずかしくないように、今できることをひとつずつ学んでいきたいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

正会員紹介

同好会報告

ブロック研究会 第3回大会

夏真っ盛りの7月27日、トマト村にてブロック研究会第3回大会が行われました。猛暑にも拘わらず多くの先輩方にご出席していただきまして誠にありがとうございました。今回はなんとと言っても初参加の土井君が、先輩方の無言の圧力?にも負けず堂々とした打ち方で、久しぶりの大型新人の登場となりました。

そして優勝は、卒会生ともなると遠慮という2文字を忘れてしまうものなのでしょうか?波多野俊裕君でした。

また次回、お待ちしております! ブロック研究会 **波多野 慎一**



お知らせ

社団法人日本青年会議所 公益社団法人格認定のお知らせ

2008年12月1日に公益法人認定法の施行に伴い、先般より内閣府に申請いたしました日本青年会議所の公益社団法人格取得についてですが、2010年6月24日付けで正式に公益社団法人として認定を受けました。2010年6月30日をもって、これまでの社団法人日本青年会議所は一旦解散という手続きをとり、登記を完了した2010年7月1日より、新しく公益社団法人日本青年会議所としてスタート致しました。